

研究課題 (テーマ)		複数台のロボットを用いた講義支援のための双方向インタラクション技術開発	
研究者	所属学科等	職	氏名
代表者	知能ロボット工学科	准教授	増田寛之
分担者			

## 研究結果の概要

近年、講義等にロボットを用いることで、受講生の学習に対するモチベーション向上に繋がることが報告されている。しかし、受講生側から意見や質問を発信ことができず単調な講義となることが問題の一つとなっている。

本研究は、複数台の人型ロボットを用いた双方向インタラクションを実現する自律講義システムの開発が目的である。ロボットが講義を実施する際、複数台のロボットが協調して講義を進める事で受講生の興味を引き、受講生からの意見や質問を反映させることができるシステムの開発を行った。本年度は、新たにヒューマノイドロボット PALRO を新規に1台購入し、「いさお」ちゃんと命名し、既存の「まさる」君と協調しながら講義を一コマ実施した。

受講生には PC アプリを配付することで、ロボットからの質問に答えたり、自発的に質問をしたりすることができ、ロボットは受講生からの応答に基づいて回答を変えることができる。2台のロボットによる掛け合いを通した講義を行うことで、受講生の興味を引くことができ、1台のみで実施したときよりも好意的に受け入れられたことがアンケートより分かった。



左図：授業を行ういさおちゃん&amp;まさる君



右図：講義中の様子

## 今後の展開

ロボットとのインタラクションに PC アプリを使用したのが、質問等の受付は事前に準備された選択肢から選ぶものであったため、自発的に質問をしたという実感が低いことも問題となった。ロボットと受講生の間でより多様なインタラクションができるよう開発を進めていく必要がある。